

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆老いる首都圏、介護が深刻に 4人に1人が65歳以上

・総務省が発表した2024年10月時点の人口推計で、首都圏(1都3県)は65歳以上の高齢者が4人に1人を占めた。高齢化で介護需要が高まる一方、職員は足りない。15～64歳の生産年齢人口が減少するなか、家族の介護負担が膨らめば経済活動の大きな重荷になる。1都3県は65歳以上の高齢者が前年比2万9000人増の939万2000人だった。

◆大阪万博、経済波及効果は3兆円 訪日客・賃金増が下支え

・大阪・関西万博で政府は3兆円の経済波及効果を見込む。半年間の会期中、来場者2820万人、うちインバウンド350万人を想定し、関連消費は1兆円規模になるとの試算。トランプ米政権の関税政策を巡る混乱が景気の先行きに影を落とす状況で、日本経済を下支えする。経済産業省は万博による経済波及効果を全国で2.9兆円と見積もる。

◆日本の総人口14年連続減 24年、55万人減り1億2380万人

・総務省は2024年10月1日時点の人口推計を発表。外国人を除いた日本人の人口は1億2029万6千人と89万8千人減った。過去最大の減少幅に。出生児数が死亡者数を下回る自然減が18年連続で続く。人口減を反映し、労働力の不足が年々深刻さを増している。15～64歳の生産年齢人口は7372万8千人で22万4千人減少。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆次世代型の地熱発電、実用化へ 経産省が初の官民協議会

・経済産業省は次世代の地熱発電技術の普及を促す官民協議会を初めて開催。2030年代の実用化に向け、年内に政府支援や民間投資の工程表をまとめる。地下に熱水がなくても発電できる「クローズドループ」と呼ぶ技術などの活用を促す。協議会には経産省や環境省のほか、電力会社や建設会社など70社以上の事業者が参加。

◆24年度着工数、ほぼ横ばいの79.7万戸 物価高で名目投資額は増加

・建設経済研究所と経済調査会が公表した「建設経済モデルによる建設投資の見通し」(2025年4月)によると、24年度の建設投資額は73兆9500億円となり、前年度と比べて4.0%増加する見込み。このうち民間の住宅投資額は同1.6%増の16兆9600億円になると予測。24年度の住宅着工戸数は、ほぼ横ばいの79.7万戸(同0.5%減)となる見通し。

◆コンビニ3社、店舗増7年ぶり高水準へ 工場などに省人店

・セブン-イレブン・ジャパンなどコンビニエンスストア大手3社は2025年度に最大で約400店増やす。純増数は18年度以来7年ぶりの高水準となる。国内市場が成熟するなか、小型店で企業のオフィスや工場の従業員向け需要を取り込む。無人レジやロボット技術を活用し、少ない人数でも出店できる体制を整えた。

《 注目商品 》

■LIXIL、室内側から窓に設置する太陽光発電設備「PVロールスクリーンシステム」

・世界初となるロールスクリーン状の屋内設置型太陽光発電設備「PV(太陽光発電)ロールスクリーンシステム」の受注を2025年6月から開始する予定。公共施設および法人向けに関東エリアで展開を開始し、順次展開エリアを広げていく予定。



■LIXIL、耐積雪100cm相当のアルミ屋根カーポート

・積雪地域向けとしては業界初というアルミ屋根カーポート「カーポートSC 3000」を発売する。様々な住宅に調和するよう構造・素材・質感にこだわり、雨樋を屋根・柱に内蔵してネジやボルトが屋根下から見えないノイズレスデザインが特徴。



■LIXIL、エコカラットプラスに3商品追加

・調湿、脱臭、有害物質吸着性能に優れる内装材「エコカラットプラス」に3商品を追加。深いリブと石の割り肌を再現した「リブスレート」と石の質感を美しく表現した「シングレース」、リネンをモチーフにした「ルランジュ」。洗濯物の乾き時間を最大14時間短縮可能。

